61 01 10 01 03 011

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和04年01月31日（月）

事務事業	学力向上推進事業	担当課	学校教育課	担当係	教育指導担当	管理番号	6126
第２次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野別 大項目	200002 次代を担う人と文化を育むまちづくり（教育・文化）	根拠法令個別計画等	学校教育法第３０条第２項				
中項目	200001 共に学び、成長が実感できるまちづくり						
小項目	200001 「生きる力」を育む学校教育の推進						

事業概要	子どもたちの確かな学力の向上を目指し、生きる力を育む学校教育を推進する。 ふっかちゃん夕焼け計算道場や深谷市チャレンジ（数学・英語）、英検、数検の検定費用補助を実施し、学力の重要な要素である学習意欲の向上を図る。 教科（英語等）の指導法研修会を実施し、教師の指導力向上を図る。
目的 ※何のために	・教員の授業力向上を図ることにより、児童・生徒の学力向上を図る。 ・深谷市チャレンジを全中学校で実施し、生徒の学習意欲の向上を図る。
対象 ※誰・何を対象に	市内市立小中学校の児童生徒、教職員
手段 ※どのように	①各種調査をもとに児童生徒の学力を分析する。　②教職員の指導力の向上を目指した研修を実施する。 ③生徒の学習意欲の向上をねらいとした深谷市チャレンジを実施する。
成果 ※何を求めるか	・児童生徒の学習意欲の向上、学力の向上 ・教職員の指導力の向上
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	10	教育費	01	教育総務費	03	教育研究所費	学力向上推進事業	13,073,761
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 深谷市チャレンジ（全校実施）	・ 学力調査等の実施
・ 指導法研修会の実施	・ こころざし深谷　国際塾　科学塾
・ 小・中学校ＮＲＴ標準学力検査の実施	・
・ 英検・数検の検定費用の補助	・
・ 検定合格サポート講座の開講	・
・ ふっかちゃん夕焼け計算道場の実施	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画			深谷市チャレンジ（全校実施） 指導法研修会	深谷市チャレンジ（全校実施） 指導法研修会	深谷市チャレンジ（全校実施） 指導法研修会	深谷市チャレンジ（全校実施） 指導法研修会	深谷市チャレンジ（全校実施） 指導法研修会	深谷市チャレンジ（全校実施） 指導法研修会
事業費	予算（現額）		1,654,000	15,404,000	15,817,000	16,354,000	16,543,000	17,715,000
	決算額		1,468,678	12,618,200	14,159,619	13,073,761	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0	0
		一般財源	1,468,678	12,618,200	14,159,619	13,073,761	16,543,000	17,715,000
人件費	従事職員数（人）		0.95	0.80	1.20	0.52	1.08	1.08
	人件費相当試算 ※１		7,390,050	6,225,600	9,726,000	4,230,720	8,786,880	8,786,880
			0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）			8,858,728	18,843,800	23,885,619	17,304,481	25,329,880	26,501,880

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
□	活動指標１	ＮＲＴ標準学力検査実施校数	目標値	校	0.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	□
			実績値		0.00	29.00	29.00	29.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		全小中学校（小学校１９校、中学校１０校）							
		実施校数									
□	成果指標１	ＮＲＴ標準学力検査を受検した児童・生徒の割合	目標値	%	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		0.00	98.92	98.42	98.43	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		受験率１００％を目標値とする							
		受検した児童生徒数／全児童生徒									
□	成果指標２	放課後補習等への参加児童数（小４）	目標値	%							■
			実績値		19.09	28.10	15.44	21.34	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		小４の補習等への参加者割合（市全体で実施初年度のため、目標が立てられない）							
		参加児童数／全児童数									
■	成果指標４	学力を伸ばした児童の割合（小５）	目標値	%	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		75.54	77.80	78.20	63.13	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		学力検査で伸びた児童の割合で１００％を目標値とする。							
		学力が伸びた児童数／小５全児童									
□	成果指標５	放課後補習等への参加生徒数（中１）	目標値	人							■
			実績値		321.00	352.00	436.00	323.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		目標値の設定はしない							
		参加生徒実数									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 目標通りすべての小・中学校でＮＲＴ標準学力検査を実施することができた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	-	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 放課後補習（小４）は、全校で実施し、１，１５３名中、２４６人が参加した。 学力を伸ばした児童（小５）は、県学調の結果から、小４から小５にかけて算数で学力を伸ばした児童の割合である。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	課長補佐兼指導主事　荻野　貴弘

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	
達成状況 及び その効果	

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	学力向上推進事業	担当課	学校教育課	担当係	教育指導担当	管理番号	6126

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

埼玉県学力・学習調査やＮＲＴ標準学力検査の結果を分析し、授業改善に取り組んでいる。また、必要な児童・生徒に対し、放課後補習を実施し、学力や学習意欲の向上につなげている。

評価者	学校教育課長　嘉藤　央

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

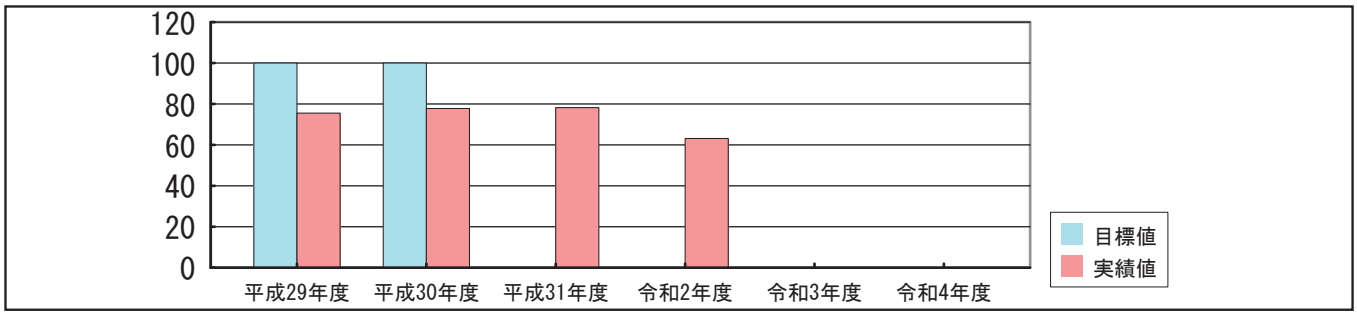
改善・改革案	

８．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

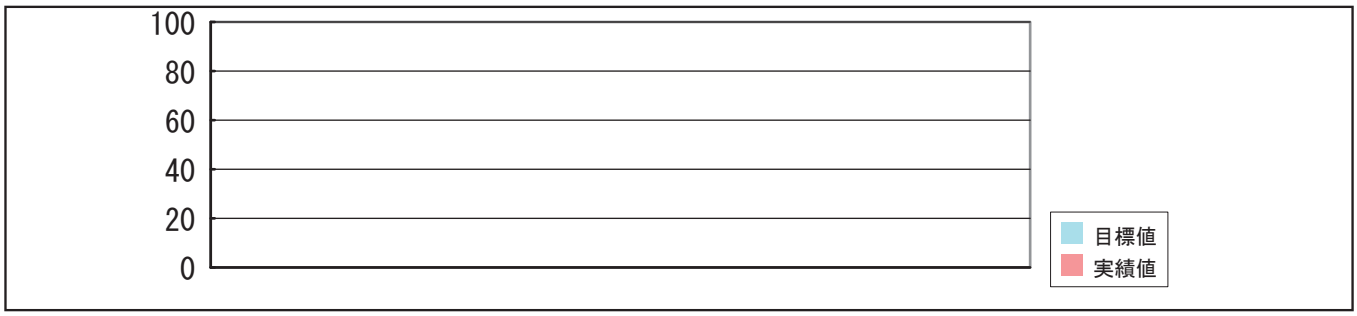
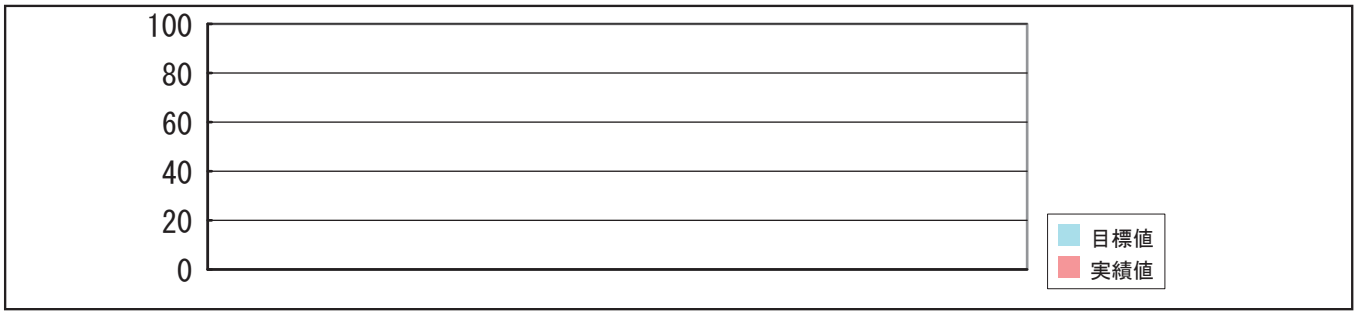
今後の課題	

９．評価指標グラフ

区分	成果指標４	指標名	学力を伸ばした児童の割合（小５）



区分		指標名	



区分		指標名